

プレー上の注意点 『自分に厳しく、人にやさしく』 2017/09/01

1. 対局の開始時（終了）は挨拶を交わしましょう
2. 山積みは牌を完全裏返して親を中心に混ぜ、全ての牌が裏返しの状態で親が積み始めたら子も積み始めましょう。
3. 牌山を全員が前に出し、井桁にしてからサイコロを振りましょう
サイコロは誰の山にも当てず中央に転がし、片付けは親が第一打後に右隅に置きましょう
親は第一打の前に1.配牌完了、2.ドラの表示、3.リンシャン牌の移動を確認しましょう
4. 全ての行為は発声を優先し、発声ははっきりと他の3人に聞こえるようにしましょう
5. 言動や態度には細心の注意を払いましょう
 - ①ルールやマナーに関して対局中は正しい意見でも直接指摘せず、審判を呼びましょう
 - ②手牌に関する発言は誤解を招きますので口にせず、局終了後の「解説」も慎みましょう
 - ③点棒の支払いは丁寧に、お釣りがあがる場合は「何点おつり」と声を掛けてあげましょう
 - ④立て膝、肘を卓につく、足組などは慎み姿勢良くゲームをしましょう
6. 喰い仕掛けの手順は1.「発声」2.「開示」を守り「取牌」「打牌」の順序は強要しません
7. 捨て牌は六枚切りにし、打牌は強打せず、呼称せずに捨てましょう
8. 常に手牌は立てておき、アガった人は理牌（見易く並べること）してから倒しましょう
9. 流局時にノーテンなら静かに手牌を伏せましょう。他家のアガリ時も静かに伏せましょう

ルール

喰いタンあり・後付けありのルールです（アガった瞬間に1翻あればよい）

- ◇東南戦、3万点持ち。大会は50分（打掛局終了まで）※局の開始は山積み完了後、開門決定とする
- ◇記録は素点記入（例：36500）合計が多い時はトップから引き少ない時はそのまま
- ◇順位点自動計算（トップ+1万2千・2着+4千・3着▲4千・ラス▲1万2千）で同着は上家上位
- ◇ノーテンは場3千点。連チャン（聴牌連チャンあり）は一本場につき300点。親がノーテンなら親流れて、オーラスならゲーム終了。（供託は誰にも加えず除外する）
- ◇30符4翻（役+ドラ）は子で8000・親で12000
- ◇形式テンパイあり。（自分が待ち牌をすべて使っている時は無効）
- ◇喰い替えあり（234から1をチーし打4ができます）
- ◇途中流局なし（九種倒牌・四風連打・四人リーチ）、及び流し満貫なし
- ◇あがり者は常に一人。（同時あがりも頭ハネ）
- ◇人和、カン振り、嶺上開花ツモでの責任払い等なし
- ◇役マンの特例なし。（ダブル役満の倍点数や国士無双のフリテン特例など）
- ◇役マンのパオ（責任払い）は大三元の3フーロ・大四喜の4フーロ目をボンあるいはカンさせた時とし、ツモは全額・ロンは半額負担

リーチ

- ◇フリテンリーチはツモあがりのみ ◇リーチ後のツモ牌選択あり
- ◇一発・裏ドラ・カンドラ・カン裏ドラあり ◇ノーテンリーチは流局時にチョンボ
- ◇リーチ後の暗カンはメンツ構成が変わらない場合のみ可能
- 例）―――三四四四での一もメンツ構成が変わるため槓はできない（一二三が無くなる）

罰則 ※但し罰則の運用は指導者に従う

- ◆**チョンボ** 手牌を倒牌、及びゲーム続行不能にした場合は12000点を除外し終了時に供託・罰符欄に記入する。その局は再ゲームとしその局の供託点は戻し、場積みも増やさず親も移動しない）補足：①倒牌の判断、ゲーム続行不能の判断等、チョンボの裁定は指導者に従う
- ◆**アガリ放棄** 誤発声はすべてアガリ放棄とし、それ以降の発声行為は出来ず、流局時はノーテン扱いとする。但し、ボンロンは単なる誤発声で即倒牌の場合のみアガリを認める
補足：①誤発声には他家の打牌への「待って」も含み行為が出来ない場合はアガリ放棄
②アガリ放棄後に発声行為をした場合はチョンボにせず行為を戻し続行する